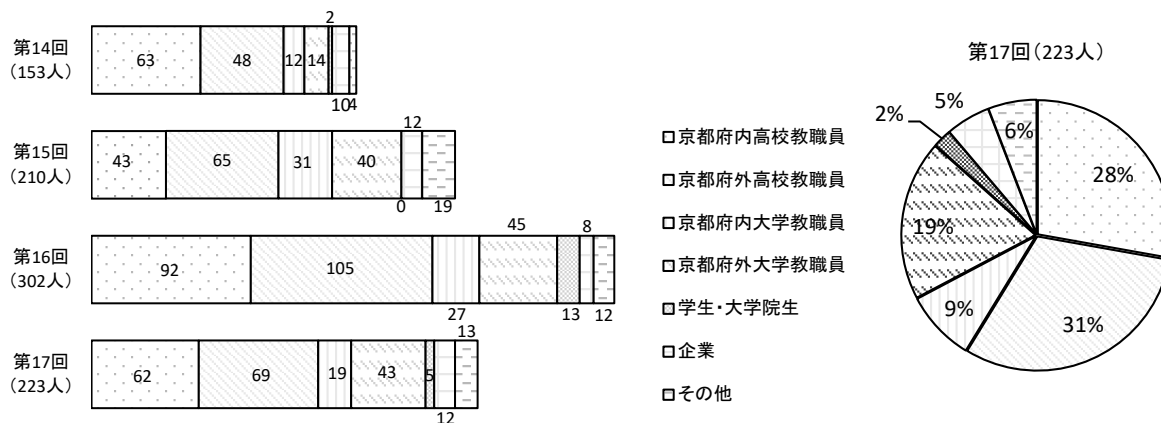
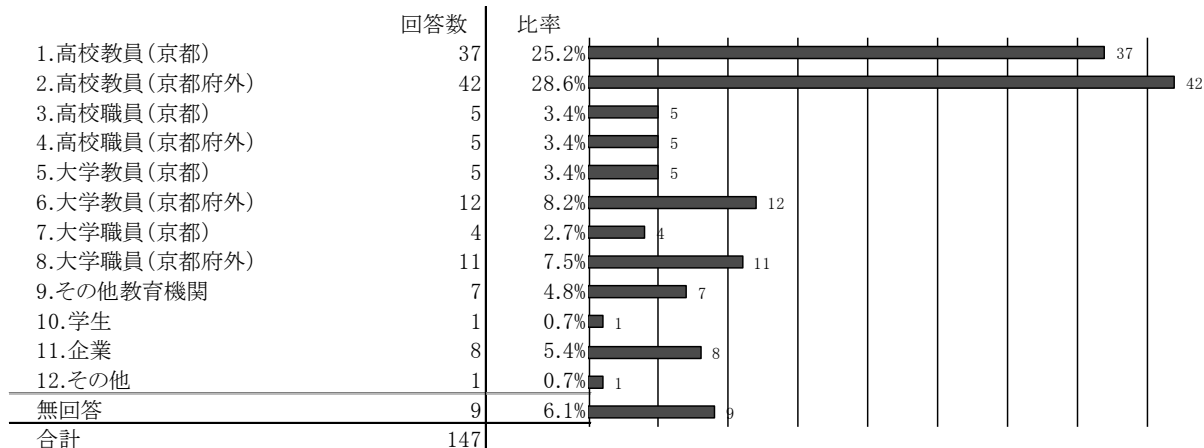


第 17 回高大連携教育フォーラム 参加者アンケート結果

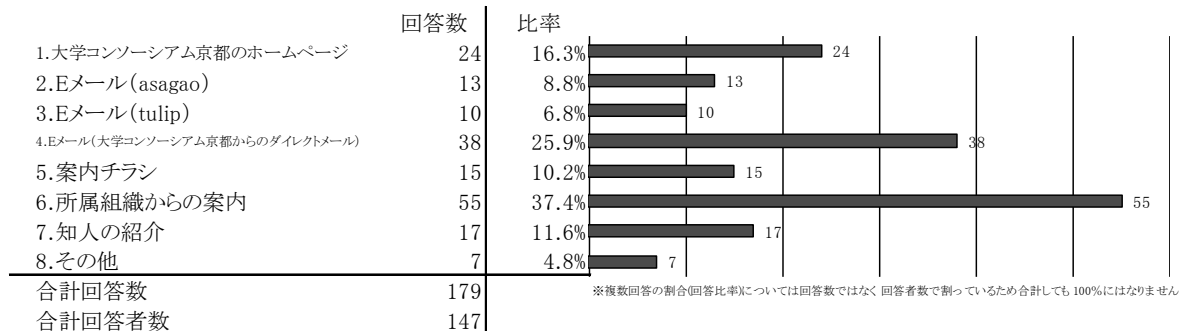
(1) 参加者数及び内訳



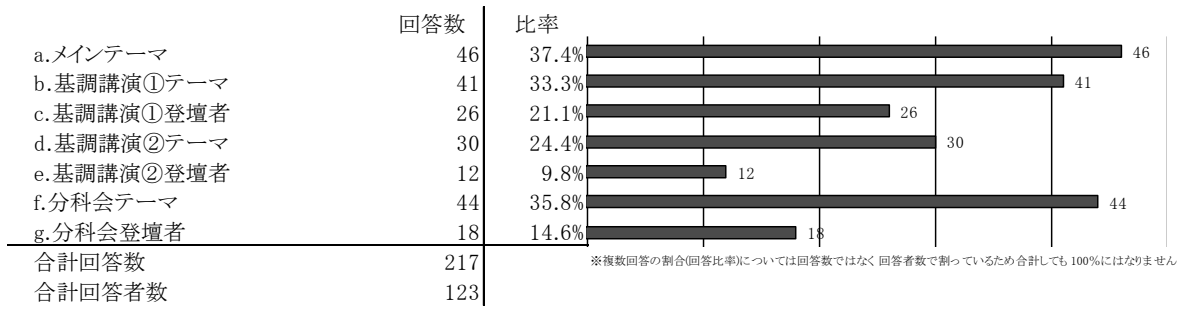
(2) 回答数及び内訳



(3) 参加理由 (複数回答可)



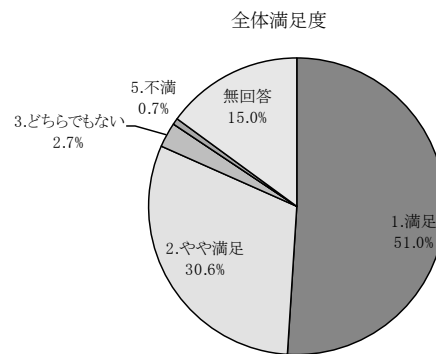
(4) 興味があった内容の内訳 (複数回答可)



(5) 満足度

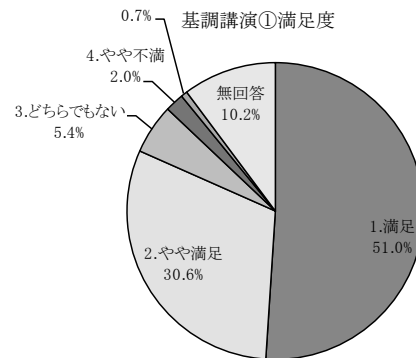
フォーラム全体

| | 回答数 | 比率 |
|-----------|-----|-------|
| 1.満足 | 75 | 51.0% |
| 2.やや満足 | 45 | 30.6% |
| 3.どちらでもない | 4 | 2.7% |
| 4.やや不満 | 0 | 0.0% |
| 5.不満 | 1 | 0.7% |
| 無回答 | 22 | 15.0% |
| 合計 | 147 | |



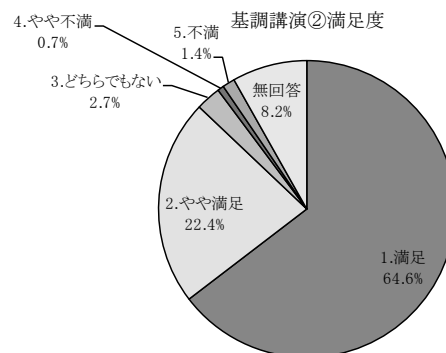
基調講演①

| | 回答数 | 比率 |
|-----------|-----|-------|
| 1.満足 | 75 | 51.0% |
| 2.やや満足 | 45 | 30.6% |
| 3.どちらでもない | 8 | 5.4% |
| 4.やや不満 | 3 | 2.0% |
| 5.不満 | 1 | 0.7% |
| 無回答 | 15 | 10.2% |
| 合計 | 147 | |



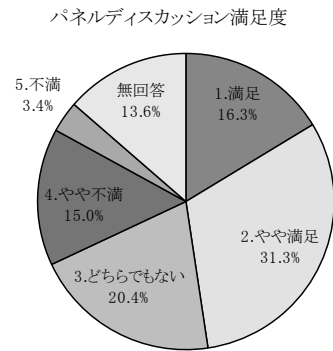
基調講演②

| | 回答数 | 比率 |
|-----------|-----|-------|
| 1.満足 | 95 | 64.6% |
| 2.やや満足 | 33 | 22.4% |
| 3.どちらでもない | 4 | 2.7% |
| 4.やや不満 | 1 | 0.7% |
| 5.不満 | 2 | 1.4% |
| 無回答 | 12 | 8.2% |
| 合計 | 147 | |



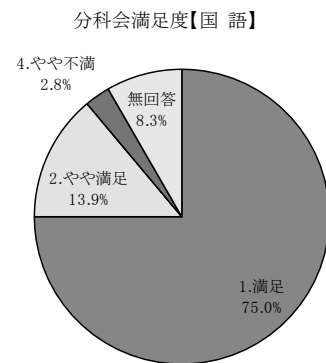
パネルディスカッション

| | 回答数 | 比率 |
|-----------|-----|-------|
| 1.満足 | 24 | 16.3% |
| 2.やや満足 | 46 | 31.3% |
| 3.どちらでもない | 30 | 20.4% |
| 4.やや不満 | 22 | 15.0% |
| 5.不満 | 5 | 3.4% |
| 無回答 | 20 | 13.6% |
| 合計 | 147 | |



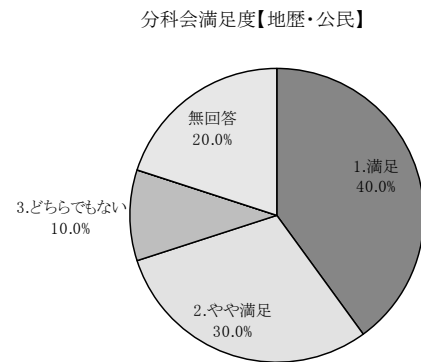
第1分科会【国語】

| | 回答数 | 比率 |
|-----------|-----|-------|
| 1.満足 | 27 | 75.0% |
| 2.やや満足 | 5 | 13.9% |
| 3.どちらでもない | 0 | 0.0% |
| 4.やや不満 | 1 | 2.8% |
| 5.不満 | 0 | 0.0% |
| 無回答 | 3 | 8.3% |
| 合計 | 36 | |



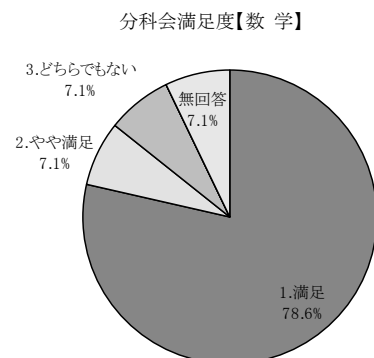
第2分科会【地歴・公民】

| | 回答数 | 比率 |
|-----------|-----|-------|
| 1.満足 | 4 | 40.0% |
| 2.やや満足 | 3 | 30.0% |
| 3.どちらでもない | 1 | 10.0% |
| 4.やや不満 | 0 | 0.0% |
| 5.不満 | 0 | 0.0% |
| 無回答 | 2 | 20.0% |
| 合計 | 10 | |



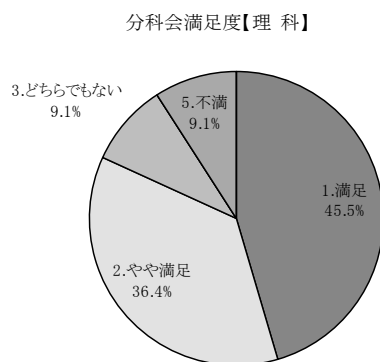
第3分科会【数 学】

| | 回答数 | 比率 |
|-----------|-----|-------|
| 1.満足 | 11 | 78.6% |
| 2.やや満足 | 1 | 7.1% |
| 3.どちらでもない | 1 | 7.1% |
| 4.やや不満 | 0 | 0.0% |
| 5.不満 | 0 | 0.0% |
| 無回答 | 1 | 7.1% |
| 合計 | 14 | |



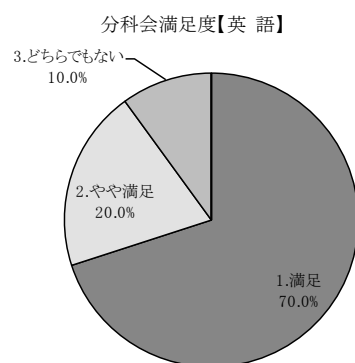
第4分科会【理 科】

| | 回答数 | 比率 |
|-----------|-----|-------|
| 1.満足 | 5 | 45.5% |
| 2.やや満足 | 4 | 36.4% |
| 3.どちらでもない | 1 | 9.1% |
| 4.やや不満 | 0 | 0.0% |
| 5.不満 | 1 | 9.1% |
| 無回答 | 0 | 0.0% |
| 合計 | 11 | |



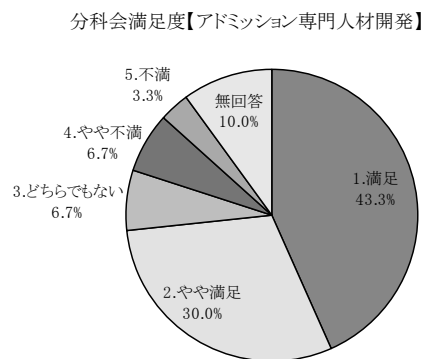
第5分科会【英 語】

| | 回答数 | 比率 |
|-----------|-----|-------|
| 1.満足 | 7 | 70.0% |
| 2.やや満足 | 2 | 20.0% |
| 3.どちらでもない | 1 | 10.0% |
| 4.やや不満 | 0 | 0.0% |
| 5.不満 | 0 | 0.0% |
| 無回答 | 0 | 0.0% |
| 合計 | 10 | |



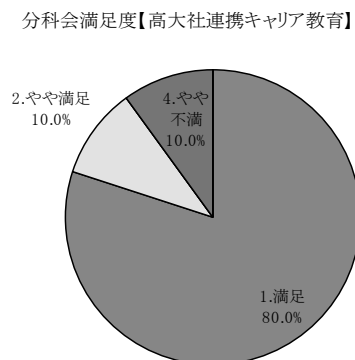
特別分科会①【アドミッション専門人材開発】

| | 回答数 | 比率 |
|-----------|-----|-------|
| 1.満足 | 13 | 43.3% |
| 2.やや満足 | 9 | 30.0% |
| 3.どちらでもない | 2 | 6.7% |
| 4.やや不満 | 2 | 6.7% |
| 5.不満 | 1 | 3.3% |
| 無回答 | 3 | 10.0% |
| 合計 | 30 | |



特別分科会②【高大社連携キャリア教育】

| | 回答数 | 比率 |
|-----------|-----|-------|
| 1.満足 | 8 | 80.0% |
| 2.やや満足 | 1 | 10.0% |
| 3.どちらでもない | 0 | 0.0% |
| 4.やや不満 | 1 | 10.0% |
| 5.不満 | 0 | 0.0% |
| 無回答 | 0 | 0.0% |
| 合計 | 10 | |



(6) ご感想やご希望、その他ご意見 (抜粋)

フォーラム全体

- ・タイムリーかつ刺激的な内容で、「自分の実践は間違っていないのかも」というわずかな満足と、「まだまだやるべきことがある！」という焦りを同時に感じることができました。
- ・テーマが偶然にも世の中を賑わしていることもあって、共通テストの記述問題が必要とされていることを改めて確認できた。自分が考えていることが間違っていないことが確認できてよかった。
- ・高大接続、入試改革の議論では困難な局面が多いが、原点に立ち返り、なぜ改革が必要なのかという本質に向き合うことで、目指すべきものが見つかるのではないかと、幾らかの希望が見えるフォーラムであった。
- ・高大連携にふさわしい方々のお話を伺うことができた。
- ・刺激になる内容であった。
- ・視野が広がります。先生方の熱意も感じ取れてよかったです。
- ・自分自身の知見を広げたり、深めたりすることができた。
- ・充実した内容で大変勉強になった。
- ・他の大学と高校の現状を改めて認識することができました。
- ・他校種、他校の先生と意見交換することができた。
- ・多くの事を学べるよい機会となった。
- ・日々の実践の背景について考えさせられる内容で、大変満足しています。
- ・論点が整理できた。

基調講演①

- ・「主体性」という概念を改めて考え直せました。
- ・PISA ショック、コンピテンシー育成についての国の考え方や流れを知り、幅広い視点で考え直すことができた。
- ・ぜひ皆様に知っていただき、考えていただきたい内容でした。
- ・改めて、今の教育を考える方向性の本質について確認できた。
- ・学力の3要素について、どういう狙いがあり、どういう内容のものであるのかがとても具体的に理解できた。
- ・具体的な例を示しながらも、一貫してコンピテンシーについて、様々な角度から説明していただき、とても分かりやすかった。
- ・高校における学習評価（特に学ぶ意欲をどう評価する）について整理することができた。現在までに考えてきたこととほぼ同じだったので安心した。
- ・高大接続という文脈で捉え直す必要があることが改めてよくわかった。
- ・国際的な視点から、大局的に教育を捉えることの重要性を認識させていただきました。
- ・主体性の育成において、生徒自身が、何をしていくべきか明確になった。
- ・図式化されていて分かりやすかった。大学入試センター関係の方から直接お話しいただきありがたかった。
- ・難しいタイミングでのご登壇だったと思いますが、理念を忘れてはいけなさと再確認できました。
- ・色々な資料の中で、OECD の考え方を見てきましたが、実際に関わっている方の声を聞け、背景や考えを知ることができ、大変参考になりました。
- ・入試制度がどう変わろうと、生徒に必要とされている力が何か整理することができた。
- ・非常に幅広い視点から「学び」と「評価」についてお話しいただけた。

基調講演②

- ・「主体性」の評価を実現するための状況を細かく理解でき勉強になった。
- ・大変面白い切り口で、今後の入試改革について期待が持てました。
- ・主体性をどう評価するのか、大学側も悩みながらもどんな施策をするべきなのか、が明確になった。
- ・一般入試における主体性評価に焦点化してくださっていて面白かった。他入試での扱いについても話を伺ってみたくなった。
- ・現在、自分が考えて取り組んでいることと大きな違いがなくよかったです。大学でも、考え、検証した上で評価をしていることを知ることができよかったです。
- ・高校現場が抱えている課題が明確に示されており、大学側の考え方（方針）がよく分かった。
- ・佐賀大学の入試への取り組みが非常に魅力的でした。
- ・主体性の評価について、妥当性、信頼性、実行のコストと受験生に与える影響まで含めてとてもよく考えられた取り組みをされていることがわかった。
- ・大学でもできることがあることがわかった。
- ・大学としての戦略と教育の本質論とが融合していて興味深いお話であった。
- ・大学入試改革が高校に良い影響を与えられるようにしたいと思いました。
- ・大変共感しました。大学側から高校に望むこと、高大接続の意義が分かりました。
- ・大学側が入試改革や評価をどのように考えているか、具体的に知れて良かったです。
- ・探究活動のやり方を再確認し、自分が実際に行っていることに後押しをもらえた。
- ・調査書の扱い方についての工夫がよく考えられていて感心した。

パネルディスカッション

- ・21世紀の学校現場でのあり方が具体的に提示されており、とても理解しやすかった。
- ・もう少し時間があればさらに良かったです。
- ・リアルタイムな現場の話題について知ることができ大変参考になった。
- ・各々の立場の方の生の声が聞けたのがよかったです。
- ・塔南高校の最先端型でありながら本来あるべき姿の学校説明や、龍谷大学の私立ならではのリアルな現状を直接聞く機会があったので、貴重な講演でした。
- ・「育成」と「評価」の視点でそれぞれの立場からの話を聞いてよかった。調査書は興味深かった。
- ・ディスカッションとしては、ややまとまりのないものでしたが、個々の発言からは、学ぶものがありました。
- ・調査書を書く側として、大学の（オブラートに包んでも実際に伝わる）現実が聞けたのは有意義でした。これが今後どう変化していくのか大変興味がある。

第1分科会【国語】

- ・国語科教育の、特に「書くこと」について、その必要性は重々承知しているものの、時間的、労力的な面でややためらいがありました。生徒のためを思い、工夫してやっていかねばと感じました。
- ・国語教育にとって何が主眼かについて考えられた。
- ・自分が狭い視野に捉われていたと痛感しました。目の前の生徒たちのために何ができるか・何をすべきか考えたいと思います。
- ・悩みは皆さん一緒だし、その点について、話が聞けたのは、今後の自分の授業改善のヒントになりそうです。
- ・両先生とも本質的なお話を提示してくださってとても勉強になりました。

第2分科会【地歴・公民】

- ・実践事例が参考になりました。
- ・あまり協議ができなかったが、実践発表は参考になった。

第3分科会【数 学】

- ・大学での現状、実践もとても分かりやすく、本校もどうしていくか考えさせられました。課題学習についても、次のカリキュラムでどうしていくか…とヒントがもらえました。
- ・入試対策としてではなく、本質的に数学をを考えてもらうための工夫が伝わってきて、大変参考になった。
- ・様々なヒントをいただいてありがたかった。学校に持ち帰って役立てたい。
- ・早苗先生のこれまでの授業研究の成果に触れられて、これからの数学の教授法をアップデートする必要性を強く感じた。

第4分科会【理 科】

- ・岸本先生の授業例は、大変よかった。まさに生徒に学びの主体を与えて実践されているのを聞いて、感動した。様々な工夫やアイデアを入れて展開されていると思うが、是非、その辺りも、お聞きしたい。
- ・生徒に考えさせること、教師がしゃべりすぎないこと、さまざまな気づきを得ました。
- ・非常に活力ある話が聞いてよかった。

第5分科会【英 語】

- ・具体的な活動やアイデアと理論の両方が学べた。
- ・高校側からは豊富な実践例、大学側からは理論を学ぶことができました。
- ・参考にさせていただくことのできる実践やアイデアをたくさんいただきました。あれもこれもは難しいですが、何か一つ、新しいことを始めてみたいという前向きな意識になれました。
- ・実践の具体的事例を詳しく聞くことができ、大変参考になりました。

特別分科会①【アドミッション専門人材開発】

- ・かなり実務レベルの話もあり、非常に参考になりました。
- ・非常に有意義な講義でした。明日から活用したいと思います。
- ・さまざまなデータから体系的に学ぶことができた。
- ・リスク管理の視点は参考になった。より見識を広げていきたい。
- ・高校の独自問題作成においてもリスクマネジメントが必要だと感じた。参考になった。

特別分科会②【高大社連携キャリア教育】

- ・高校生の考え方を聞くという日頃ない機会でもとても新鮮でした。
- ・最後の学生たちのコミットと鮫島先生のコメント（形成的評価）に、自分自身を顧みることができた。体験から学ぶ、学びから考える、不快なものだけでなく快なもの。イノベティブな時間だった。
- ・生徒たちの変化（発表 etc.）の様子が見られてよかったです。高校生と大学生のグループワークは学びが多そうですね。キャリアから進路につなげるスキル（次のステージへの移行のポイント）を知りたいです。
- ・学生の変容が実感できた。人と関わることでそれをプラスにしていこうとする意識をどう持たせるか、研究していきたい。